

リベルタ新聞

クラブ活動

梅雨が過ぎて、これからが夏本番ですね。皆様、暑さ対策は整っているでしょうか？さて、リベルタではそんな暑さにも負けず、以前よりご利用者様・ご家族様にお知らせしておりました『クラブ活動』に熱を入れて取り組んでおります。



運動チームでは、集団で体操を行ったり、個別に歩行訓練を行いました。芸術チームでは、今夏の季節にピッタリな風鈴作りや花火の壁画の製作を行いました。

2018年
8月1日(水)
リベルタ新聞社
富士市厚原372番地1
ホームページ
<http://www.fujic3.com>
TEL:0545-72-3833



〜定期連載〜
俊さんのコラム

「昭和十二年苦難の始まり」

先月号の続き・・・。

さて、当時は東京では物価も安く、東京市内の路面電車は、七銭でした。何回乗り換えても七銭でした。当時、渋谷から浅草までの地下鉄が十銭で、市民は値段が高いと言われておりました。外食はカレー！ライスが十銭から十五銭で、朝食のパンと飲み物で七銭でした。

だんだんと、戦時色が強くなり、軍事産業も発展して、物価も少しずつ高くなっていきました。ちょうど東京では、皇紀二千六百年の記念行事が盛大に行われなした。(皇紀とは神武天皇から数えて二千六百年で日本国の起源)

東京では、市内電車は花電車に飾られて、夜は電蝕できれいに飾られました、二千六百年の歌も、全国の学校で歌われました。この替え歌で、タバコの値上げの歌も、ありました。子供達はどこでも歌い、学校でも面白く歌っております。タバコを知らない子供達も自然とタバコの銘柄を覚え、歌っております。例えばゴールデンバットが「金鶏」になり十五銭、光タバコが三十銭で、鳳翼があがって四十銭となり、かなりの値上がりでした。

来月号につづく・・・。